

第5回 新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会  
議事概要

1. 日時：令和3年5月28日（金） 16：30～18：30
2. 場所：日本自動車会館内くるまプラザ会議室（WEB会議併用）
3. 出席者：石田委員、北嶋委員、竹岡委員、寺井委員、吉田委員、  
板崎委員、岡安委員  
※また、設置要項3（2）により、検討事項に関係する者として日本自動車技術会デザイン部門委員会の田中委員長にも出席頂いた。
4. 議事（概要）
  - （1）新たな全国版図柄入りナンバープレートデザイン案募集結果について、資料1-1により説明した。
  - （2）新たな全国版図柄入りナンバープレートデザイン案1次審査結果について、資料1-2により説明した。
  - （3）新たな全国版図柄入りナンバープレートデザイン案2次審査方法について、資料2により説明後、各委員に諮り了承を得た。
  - （4）新たな全国版図柄入りナンバープレートデザイン案2次審査の結果、No. 1、No. 2、No. 5、No. 6、No. 12を最終候補とすることとなった。
  - （5）新たな全国版図柄入りナンバープレートデザイン案の国民意見募集方法について、資料3により説明後、各委員に諮り了承を得た。
  - （6）新たな全国版図柄入りナンバープレートデザイン案の寄付金使途について、資料4により説明し、議論を行った。
  - （7）今後の新たな全国版図柄入りナンバープレートの交付までのスケジュールと、地方版図柄入りナンバープレートの検討会での検討時期について、資料5により説明した。

<新たな全国版図柄入りナンバープレートのデザイン案募集結果について>（資料1-1）

（事務局の説明）

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートの応募数96件を超える、145件の応募があった。
- 応募者全体の約69%が学生であり、本募集を知ったきっかけについては、学校の先生から案内があったとの回答が約49%を占めたことから、学校を経由した周知活動が効果的であったと考えている。
- デザインコンペサイト「登竜門」により本募集を知った応募者が約29%おり、アクセス数の多いサイトによる募集も有効であったと考えている。

<新たな全国版図柄入りナンバープレートのデザイン案1次審査結果について> (資料1-2)

(事務局の説明)

- 4月26日まで、自動車技術会デザイン部門委員会にて1次審査を行っていただき、145作品のうち12作品まで候補が絞られた。
- 本日の2次審査で5作品を目途に選出いただく。
- 6月早々に2次審査を通過した5作品程度に対して国民意見募集を行い、その結果を参考に、次回の検討会で採用デザイン案1作品を決定いただく。

(田中委員長の説明)

- 1次審査の内容について、デザイン部門委員会メンバー27名によるWEB投票で145作品を47案に、その47案をベースにデザイン振興ワーキンググループで議論の上21案に、そして最終的にデザイン部門委員会全員出席のWEB会議によって12案まで絞り込んだ。
- 1次審査は、資料1-2の10項目の基準に基づいたが、ひとつの傾向に陥ってしまわないように、できるだけ幅広い方向性の中から12作品を選出した。
- 視認性の点では、P型色弱の方の見え方も踏まえた上で判断している。
- (「1次審査において、寄付を行わなかった場合のモノトーンデザインも観点において審査を行ったのか。」との委員からの質問に対して、)モノトーンの審査自体は行っていないが、P型色弱の方の見え方は考慮しており、色が基本的にグレーになったとしても視認できる作品を選んでいる。
- (「審査の中で、デザイン変更を前提とした評価は行ってよいか。」との委員からの質問に対して、)行わないべきと考える。

<新たな全国版図柄入りナンバープレートのデザイン案2次審査について> (資料2)

(事務局の説明)

- 2次審査は、各委員それぞれ推薦3作品を選出いただく投票方式としたい。
- 各作品の色味は、視認性に影響がある場合は調整を加える可能性がある。

(委員からの主な意見)

- 得票数が同数になった場合は、協議でよいか。  
⇒決選投票を行う想定。(事務局)
- 著作権の確認は今後行うのか。  
⇒国民意見募集の際に、著作権侵害について情報を収集する。そのほか、事務局でも最終候補5作品に絞られた段階で確認を進める。(事務局)

- No. 1 2について、葛飾北斎の作品をモチーフにしているが、著作権の問題はないということによいか。  
⇒過去の作品であり、著作権上の問題は生じないとするが、「いかがなものか」という指摘が入ることはありうる。(事務局)
- 細かいデザインだった場合に、製作時の技術的な障壁があったり、価格に影響があったりするののか。  
⇒技術的に問題なく、価格にも影響はない。(事務局)

#### (まとめ)

- No. 1、No. 2、No. 5、No. 6、No. 12 が最終候補作品として選出された。

### <新たな全国版図柄入りナンバープレートのデザイン案国民意見募集について> (資料3)

#### (事務局の説明)

- 令和3年6月1日(火)～6月14日(月)の期間に国民意見募集を行う。
- 応募者の資格に制限はないが、一人一回の応募としたい。
- 4つの設問ごとに最も適していると考えられる1作品を選択いただく形としたい。
- 候補作品に関する個別のコメント及び、著作権侵害等に関する情報提供は任意でいただくこととしたい。
- 最終候補5作品については、特許庁に商標登録が行われていないか調査協力を依頼することとしたい。
- 意見の応募方法は、国交省ホームページの意見募集専用ページあるいは、葉書等の郵送によりご提出いただくこととしたい。
- 頂いたご意見は、匿名の形でグラフ化・一覧化することとしたい。

#### (委員からの意見)

- 一人一回の応募であることの確認はどのように行うのか。  
⇒メールアドレスをご提出いただく等の方法で確認する。(事務局)

#### (まとめ)

- 事務局の提案内容について異議なし。

### <新たな全国版図柄入りナンバープレートの寄付金使途について> (資料4)

#### (事務局の説明)

- 本日は寄付金使途について議論いただき、次回の検討会で決定することとしたい。
- これまでの検討会において、資料4記載のとおり、寄付金使途について委員から意

見を頂いている。

- ラグビーワールドカップは「会場までの輸送力の増強」、オリンピック・パラリンピックは「開催地におけるリフト付きバス、UD タクシーの整備等」、地方版は当該地域における自動車交通サービスの改善、観光振興」に寄付金を使用している。
- 全国版の図柄入りナンバープレートなので、寄付金の使途が特定の地域のみが対象とならないようにしたい。
- バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標が定められ、バリアフリー化の目標値が引き上げられていることから、オリパラレガシーを引き継ぎ、引き続きバリアフリーの推進を行ってはどうか。
- 自動車ユーザーからの任意の寄付金であることと、「日本を元気に！」、「立ち上がれ！美しい日本」をテーマとしていることを踏まえ、自動車ユーザーに関連する事業のうち、活力ある日本に繋がる未来志向の取組である SDGs に着目して訴求してはどうか。

#### (委員からの意見)

- 観光振興は地方版と用途が重複するため、属地的な観光でない場面にフォーカスしてはどうか。  
⇒地方版を導入していない地域があることに加え、新型コロナの感染拡大により観光業と交通事業者も影響を受けており、アフターコロナの際に各地域の観光業を応援することも必要と考え提示した。(事務局)
- 「日本を元気に！」、「立ち上がれ！美しい日本」というテーマを掲げているので、テーマに沿って寄付金を使用することをわかりやすく表現すべきでは。SDGs に寄付金を使用するとしてしまうと、テーマがわかりにくくなる。
- 事務局には次回の検討会までに、本ナンバープレートを多くの方に付けていただけるようなコンセプト、ストーリーを検討いただきたい。
- 寄付金使途と自動車ユーザーの接点はどこにあるのかを言葉に落とせると良い。テーマに共感する方々が、そういう形で寄付が使われたらうれしいと思えるようなストーリーが大事と考える。

#### (まとめ)

- 事務局で寄付金使途についてブラッシュアップし、次回の検討会に諮る。

#### <今後のスケジュールについて> (資料4)

##### (事務局の説明)

- 本検討会で選出された最終候補5作品について、国民意見募集を経て、次回の第6回検討会にて採用デザイン案1作品を決定したい。

- 採用デザイン案 1 作品の決定後は、視認性試験と、必要に応じて色味調整等を行った上で、最終デザインの確定を 11 月頃に行う。
- 交付開始は令和 4 年度からを目指す。
- 地方版は、次回の募集開始を令和 4 年度で想定しており、制度の在り方について本年度の後半の検討会で議論いただきたい。

**(委員からの意見)**

- データと、実際の審査用プレートとで印象が異なったので、国民意見募集の際には写真も掲載するようにしていただきたい。